



『6月のつどい』は北区で開催しました



6月の「つどい」は6月20日(金)北区民センターで、20名の参加をいただき開催しました。

「ちょこっと学習会」は、北大生の岡垣さんと池内さんより、「学生ボランティア団体 まごのて」の紹介をしていただきました。当団体は、東・北区を中心に活動する学生主体の有償ボランティアで、高齢者の方や障害のある方に向けた生活支援サービスを行っています。活動例は、買い物代行、室内清掃、お話し相手、パソコン・スマホ補助、ゴミ出し、夏は庭作業、冬は除雪などで、毎年100件以上あります。また認知症の方のお話し相手のご依頼もあり、近々認知症サポーター養成講座にてコミュニケーション方法を学び、このようなご依頼にもできるかぎりお答えしたいとのことでした。その後のいつもの語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

🌸 要介護2の母60代を介護 息子

先日介護認定され、ケアマネを探しているところです。入浴できなくなり、短時間のデイサービスを検討していますが、施設や病院を嫌がる傾向があり悩んでいます。いい方法があればいいのですが。

🌸 会員より

私の例ですが、子供の頃母にお風呂入らないとダメ、と言われたことを話し説明したら、デイサービスで入浴することができました。言葉遊びと称していますが、いろいろ工夫しアイデアを出してトライしてみるのも一手です。また、どうして入浴を嫌がるのか、本人に訳をよく聞いて考えてあげることも必要でしょう。意外とお湯の量、浴槽、介助の仕方、介助者など周辺環境の問題であることもあります。体調、本人の心境変化などで、突然入浴できるようになることもよくあります。無理してやっきになるより、自然な形でタイミングを待つ、またはプロに任せるとすることも必要だと思います。これは、入浴だけでなく、施設通所や紙パンツへの移行などにも応用できるかと思います。

🌸 要介護4の90代母と妻70代を介護 息子

母そして妻がグループホームに入居、今一番辛いのは、妻がなぜここにいなきゃいけないのか、と繰り返すことです。自分も去年脳梗塞で倒れ認知症もあり、一生懸命一人で生活していますが、不安定です。要介護認定してもらえず、要支援1のままです。医者も包括も理解してくれません。

🌸 包括職員、会員から

本当の認知症ではなく、認知障害かも知れませ

ん。ご自分のことを諦めずに、周りの支援者に分かってもらうのがいいのではないでしうか。一緒に考えたいと思う方は居られると思います。やはり、誰かに少し手を差し伸べてもらう、支援者を作ることが重要なと思います。

🌸 会員から

グループホームに7年間お話し相手として通った経験から、本人が辛いだろうと思われることがあります。隠し事をしたり、親切、丁寧だけど子供扱いにすることもあります。馬鹿にされていることは認知症の人でもわかるし、ちゃんと話しをすれば分かります。グループホームでは、やってほしいのは生きがい、喜びではないでしょうか。結局は、介護する側が自分に都合のいいような判断しかしていないんじゃないかと思います。だから、施設を利用するときには、必ず何力所か見学し、管理者なりと自分の言っていることをちゃんと聞いてくれるかを確認して選ぶことが大事かと思います。

🌸 祖母と母の介護した包括職員から

祖母と母を大事にできなかったという後悔があり、その経験から福祉の世界に入り、主任ケアマネをしています。成功体験としては、施設には入れずに自宅介護していた時、リハビリを一緒にして、祖母の胃痙が取れたことです。また、介護がなかったら家族と一緒に過ごす時間はなかったらうというのが、介護の良さだと思います。自分のことをわかってくれる家族が傍にいてことはすごく幸せじゃないかと思います。

7月のつどいご案内

【と き】 2025年7月18日(金) 13:30～15:30

【ところ】 厚別区民センター2階 視聴覚室、厚別区厚別中央1条5丁目3-14

【最寄り駅】 JR 新札幌駅、東西線新さっぽろ駅下車4番出口 徒歩4分

※ 8月の「つどい」は西区で8月20日(水)に開催予定です。

ちょこっと学習会は
「熱中症の予防と対策」
東徳洲会病院の予定

